# 令和6年度(1級•2級•3級)

## 鞄・ハンドバッグ・小物(紳士・婦人)

# 第14回技術認定試験(皮革部門)受験案内

技術認定とは、江戸時代に発展し、明治時代以降、多彩な商品づくりが行われてきた「鞄・ハンドバッグ・小物」の技能伝承を図るとともに、国内の生産技術を向上させることを目的に実施(実技)するものです。とくに受験者が持っている技術や知識を一定の基準によって検定し、認定する試験です。これによってこの業種で働く人々の技術と社会的・経済的地位の向上を図っていきます。

本年度は、1級・2級・3級の試験を行い合格者には日本鞄ハンドバッグ協会名の合格証書を授与し「技術者」としての認定を行います。

## 日本鞄ハンドバッグ協会

## 鞄 事務局

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-16-14 バッグ会館<u>4階</u> TEL 03-3862-3511

ハンドバッグ・小物 事務局

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-16-14 バッグ会館<u>2階</u> TEL 03-3851-5278

## 令和6年度「第14回 鞄・ハンドバッグ・小物(紳士・婦人)」 技術認定試験(皮革部門)試験要綱

1. 実施主体 一般社団法人日本皮革産業連合会 日本鞄ハンドバッグ協会

## 2. 目 的

天然皮革等を素材とする鞄・ハンドバッグ・小物の製作に従事する人々が持っている技術や知識を一定の基準によって検定し認定する制度。この試験は技術に対する社会一般の評価を高めこの業種で働く人々の技能と社会的・経済的地位の向上を図り、併せて後継者を育成することを目的に実施します。

合格者には協会から合格証書を交付するほか「鞄・ハンドバッグ・小物(紳士・婦人)技術者」と称することができます。

## 3. 試験の種類と等級区分

本年度は、1級・2級・3級技術者の試験を鞄部門・ハンドバッグ部門・小物(紳士・婦人)部門において実施します。

- 1級 上級技術者が通常有すべき技能の程度
- 2級 中級技術者が通常有すべき技能の程度
- 3級 初級技術者が通常有すべき技能の程度
- ※本試験は学科・実技ともにすべて日本語で実施されます。 外国語での対応は致しかねますのでご了承ください。

## 4. 試験内容

## 学科試験

- ○1級・2級を受験申請した者は、<u>事前に提出した作品が合格した者だけが学科</u> 試験を受験する。
- ○1級・2級の作品審査において、不合格の者は学科試験を受験できない。
- ○3級を受験する者は作品審査がないため、全員学科試験を受験する。
- ○試験時間 30分
- ○出題方法は1級・2級・3級の各部門別に実施し、「真偽法」と「多肢択一法」の 併用(計25間)とする。
- 〇出題範囲は、一般社団法人日本皮革産業連合会発刊の「鞄・ハンドバッグ・ 小物 標準用語集」を参考図書とする。
  - ※購入希望者は日本鞄ハンドバッグ協会までお問合せ下さい。
- ○学科試験合格者で実技試験不合格の者は、学科試験合格の翌年から<u>3年間は</u> 学科試験を免除する。

## 実技試験

- ○1級・2級を受験申請した者は、事前に提出した作品が合格した者だけが 実技確認試験へと進み、試験会場で提示された製作工程を行う。
- ○1級・2級の作品審査において不合格の者は実技確認試験を受験できない。
- ○3級を受験する者は、全員当日与えられた課題を製作する。
- ○試験時間…1級・2級は90分から180分程度(部門により違いあり)、 3級は120分程度
- ○実技試験内容については、12.実技試験内容を参照。 ※こちらのホームページからご覧になれます。http://www.kaban-handbag.com

## 5. 受験資格

1級試験の受験資格は、日本国内での鞄・ハンドバッグ・小物の製造実務経験10年以上の者。

[但し、既に 2 級試験に合格した者は製造実務経験年数 10 年以上にかかわらず、次年度 1 級試験を受験できるものとする]

2級試験の受験資格は、日本国内での鞄・ハンドバッグ・小物の製造実務経験 5年以上の者。

[但し、既に3級試験に合格した者は製造実務経験年数5年以上にかかわらず、次年度2級試験を受験できるものとする]

3級試験の受験資格は、日本国内の鞄・ハンドバッグ・小物の関連企業にて、 就業実績 1年以上の者(ただし業務内容は問わない)、専門学校卒業見込み の者、または鞄・ハンドバッグ・小物の製造に意欲のある者。

※また、すべての部門・級において以下の欠格事項に該当しないこと

- ①申請書や添付書類中の重要な事項について虚偽の記載をし、または事実を記載しなかったもの
- ②過去に各種資格試験等において不正を行ったもの
- ③日本国内に有効な住所を有していないもの
- ④特定の宗教・政治団体・反社会的勢力と関わる場合や業務の内容が公序良俗に反する営業 を行っているもの
- ⑤その他、協会で定める事項を遵守しないもの

## 6. 試験日時及び試験会場

学科試験 • 実技試験

○試験日時〔予定〕 1級は、令和7年3月1日(土)・8日(土)〔東京会場〕

2級は、令和7年3月1日(土)・8日(土)〔東京会場〕

3級は、令和7年3月22日(土)〔東京会場〕

※試験日時は、応募状況により変更する場合があります。

○試験会場 1級・2級は、東京都台東区内の指定する会場

3級の試験会場は、応募状況により、東京・名古屋・ 大阪・豊岡の4箇所で実施を予定。

名古屋・大阪・豊岡で試験を実施する場合は、

令和7年3月中旬を予定。

## 7. 試験結果の通知

## 令和7年4月中旬(予定)

試験の結果は、受験者全員に通知します。

## 8. 受験料 各部門共通

1級 実技試験 20,000円(消費税含む)

学科試験 2,000円(消費税含む)

[但し、日本鞄ハンドバッグ協会の傘下団体の会員である企業の受験者は 実技試験 14,000円(消費税含む)、学科試験 1,400円(消費税含む)とする。]

2級 実技試験 13,000円(消費税含む)

学科試験 2,000円(消費税含む)

[但し、日本鞄ハンドバッグ協会の傘下団体の会員である企業の受験者は 実技試験 9,100円(消費税含む)、学科試験 1,400円(消費税含む)とする。]

3級 実技試験 3,000円(消費税含む)

学科試験 2,000円(消費税含む)

[但し、日本鞄ハンドバッグ協会の傘下団体の会員である企業の受験者は 実技試験 2,100円(消費税含む)、学科試験 1,400円(消費税含む)とする。]

## 1級・2級受験者は実技試験料のみ、下記口座へお振込をお願いします。

3級受験者は、事前の作品審査がありませんので、学科試験料・実技試験料の合計金額を振り込んでください。

### ◆振込先

みずほ銀行 浅草支店 普通預金 NO.1730834

にほんかばんはんどばっぐきょうかい 口座名義 日本鞄ハンドバッグ協会

口座名義 日本軸ハントハック協会

# ※1級・2級の学科試験料は、学科試験へ進んだ方のみ、学科試験当日お支払いください。

振込手数料は受験者の負担となります。(当協会では領収証を発行しません)また、お振込を証明する書類(コピー可)を受験申込書に貼付してください。

受験料を振り込んだだけでは申込にならないので、注意してください。

## 9. 受験申込書の受付期間と受付先

## 受験申込書の受付期間

## 令和6年9月27日(金)~10月25日(金)必着

受験申込書は受付期間中、下記の事務所において受け付けます。 〔土・日・祝日を除く午前10時~12時、午後1時~4時〕

郵送の場合、受験申込書を折り曲げても問題ありません。(封筒サイズ自由)

封筒に「住所」「氏名」並びに「技術認定(皮革部門)受験申込書在中」と記載してください。

### 《鞄の技術認定試験(皮革部門)受験申込書送り先・作品提出先・問い合わせ先》

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-16-14 バッグ会館<u>4階</u> 日本鞄ハンドバッグ協会技術認定試験事務局宛 TEL 03-3862-3511

《ハンドバッグ・小物の技術認定試験(皮革部門)受験申込書送り先・作品提出先・問い合わせ先》

〒111-0052 東京都台東区柳橋 2-16-14 バッグ会館<u>2階</u> 日本鞄ハンドバッグ協会技術認定試験事務局宛 TEL 03-3851-5278

## 10. 受験申込書の記載及び注意事項

受験申込書が受理されるためには、次の条件を備えていることが必要です。

- ①受付期間中に申込されている。
- ②受験資格がある。
- ③記入を要する事項に記入漏れ、または誤りがないこと。
- ④お振込を証明する書類(コピー可)が貼付されていること。
- ⑤お振込いただいた受験料は返金できません。
- ⑥電話またはFAXでの受付はしません。
- (7)申込締め切り後の試験の部門・等級等の選択変更はできません。
- ⑧写真2枚(6ヶ月以内の正面脱帽半身像)を用意し、受験申込書に2枚貼付のこと。(1枚は受験申込書用、もう1枚は受験票用に使用)
- ⑨受験申込書はコピーをとり各自保管してください。

# 但し、試験会場等の都合により定員になりしだい受験者数を制限する場合があります。

受験者数制限後に応募されました方の学科試験料、実技試験料は返却します。

## 11. 受験票の送付

受験票は、ご指定いただいた住所へ11月上旬に受験者の方々へ送付します。 1・2級受験者で実技課題試験に合格した者は、学科試験・実技確認試験の際に ご持参ください。

3級受験者は学科試験・実技試験の際にご持参ください。

受験票送付時に学科試験・実技試験(1・2級は実技確認試験)の日時並びに会場をお知らせします。

## 12. 実技試験内容

## 1級 鞄・ハンドバッグ・小物(紳士・婦人)部門

鞄の受験者は、事前に提示されたデザイン画に基づき、供与された素材を 用いて作品2点と型紙を提出する。

ハンドバッグの受験者は事前にハード、ソフトどちらかの課題を選択し、 提示されたデザイン画に基づき、供与された素材を用いて作品1点と型紙を 提出する。

小物の受験者は事前に紳士部門、婦人部門のどちらかを選択し、提示されたデザイン画に基づき、供与された素材を用いて作品2点と型紙を提出する。

素材の発送は令和6年11月下旬頃(予定)。

作品の提出日は令和7年1月31日までとする。

手裁ち型紙製作が可能な者はCADも可。

小物部門については、革漉きは外部委託も可とする。

 $\downarrow$ 

試験委員会にて作品審査会を実施し90点以上の作品を合格とし、 合格者は筆記試験・実技確認試験へ進む。

実技確認試験(90分~180分程度)は、当日与えられた製作工程を行う。

## 2級 鞄・ハンドバッグ・小物(紳士・婦人)部門

鞄の受験者は、事前に提示された複数のデザイン画の中から選択し、供与された素材を用いて作品1点と型紙を提出する。

ハンドバッグの受験者は事前にハード、ソフトどちらかの課題を選択し、 提示されたデザイン画に基づき、供与された素材を用いて作品1点と型紙を 提出する。

小物の受験者は事前に紳士部門、婦人部門のどちらかを選択し、提示されたデザイン画に基づき、供与された素材を用いて作品1点と型紙を提出する。

素材の発送は令和6年11月下旬頃(予定)。

作品の提出日は令和7年1月31日までとする。

型紙はCADを用いて可。

小物部門については、革漉きは外部委託も可とする。



実技確認試験(90分~180分程度)は、当日与えられた製作工程を行う。

## 3級 鞄・ハンドバッグ・小物(紳士・婦人)部門

1級・2級のような事前の作品提出は無し。 実技試験(120分程度)は、当日与えられた課題を製作する。

## 13. 合格基準

各部門・各等級とも合格基準は100点満点として、 学科試験は60点以上、実技試験は90点以上を合格とする。

## 14. 合格者

合格者には実施団体発行の合格証書を授与する。

※1級合格者の作品は、業界のイベント等で広報用に使用しますので 1年間、当協会で預かりますことをご了承ください。